

科目名	現代と人権						教職		
科目区分	総合教育	履修区分	選択	配当年次	1	単位数	2	開講区分	後期
教員名	外川 正明(専任)								
授業の概要	<p>キーワード：人権に対する認識、人権感覚、自己省察力</p> <p>現代社会においては「人権」のかけがえなき重要性を、誰もが少なくとも建前としては承認している。しかし、日本の現実をみると他者の人権を尊重せず他者を対等な人格として取り扱わない実態が一般的に存在している。この講義では、現代社会の中で人権がいまなお保障されていない状況におかれている方々と出会い、その思いにふれる機会をもつことで、「人権」の理念と現実を考察し、「人権を尊重する人間」として自己を省察することを目標とする。</p>								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における「人権」の理念と現状について学ぶ。 2. 「私」と「人権」との関わりについて、具体的な深く掘り下げて振り返り、今後の自己の生き方、他者との関わりについて考え、実践する力を身に付ける。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義内容と授業計画の概要と学習に臨む姿勢を説明する。 2. 私にとっての人権問題①：授業者の人権問題との出会いを紹介し、受講生の人権学習経験を振り返る。 3. 在日コリアンの人々の人権①：在日コリアンの人々の人権問題の歴史を学ぶことを通して、近代日本社会と差別について考える。 4. 在日コリアンの人々の人権②：在日コリアンの方を特別講師として招聘し、その思いに学ぶ。(特別講師:鳥取市在住在日コリアンの方) 5. 在日コリアンの人々の人権③：前時の特別講義から学び取ったことをもとに、在日コリアンの人々の人権と自分との関わりについて話し合う。 6. 障がいのある方々の人権①：障がいのある方々の人権の歴史を学ぶことを通して、近代社会の価値観を問い直して考える。 7. 障がいのある方々の人権②：聴覚に障がいのある方を特別講師として招聘し、その思いに学ぶ。(特別講師:鳥取市在住聴覚に障がいのある方) 8. 障がいのある方々の人権③：前時の特別講義から学び取ったことをもとに、障がいのある方々の人権と自分との関わりについて話し合う。 9. 被差別部落の人々の人権①：前近代における差別の歴史を学ぶことを通して、差別がなぜ生み出されていくのかについて考える。 10. 被差別部落の人々の人権②：近代から現代における差別の歴史について学ぶことを通して、差別がなぜ存在し続けるのかについて考える。 11. 被差別部落の人々の人権③：鳥取在住被差別部落の方を特別講師として招聘し、その思いに学ぶ。(特別講師:鳥取市在住被差別部落の方) 12. 被差別部落の人々の人権④：前時の特別講義から学び取ったことをもとに、被差別部落の方々の人権と自分との関わりについて話し合う。 13. 私にとっての人権問題②：授業者の被差別の立場におかれた人たちとの出会いを紹介し、人権問題を学ぶことの意義について考える。 14. 生きること、働くことと人権問題：就職や結婚など今後の自分の人生における場面での人権問題を考える。 15. 講義のまとめ：講義を通しての学びを振り返り、いまとこれからの自分の生き方と人権との関わりについて考える。 								
評価方法	講義内容の理解度、及び講義内容について自身の考えがどれだけ深められたかに重点をおき、毎回のミニレポート(40%)、特別講義レポート3回(30%)、期末レポート(30%)により評価する。試験は行わない。								
講義外での学習	特別講義に向けて紹介する文献を読むこと、及び、特別講義のレポートや期末レポートの作成に向けて、自己の振り返りをまとめておくこと。								
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や教養を培うことを目的とした授業ではなく、自己と人権問題との関わりや自身の生き方を考えることをめざしているため、受講生の積極的な授業参加を求めたい。 ・各レポートは、自分の考えや思いをしっかり表現してくれることを望む。また、ミニレポートの考察を通して、受講生相互の意見交換を図っていききたい。 <p>※先修科目：なし。</p>								
教材	<p>◆教科書：なし、毎回レジメや資料を配付するとともに、特別講師を招聘する。</p> <p>◆参考書：講義の際に、その都度紹介する。</p>								